

株主・投資家の皆様へ

第28期

株主通信

2019年1月1日から2019年12月31日まで

Contents

株主の皆様へ	01
事業の概況	02
連結財務諸表	03
特集	04
シークスグローバルネットワーク	07
2019年のトピックス	09
株式の状況	10
役員の状況	10

シークス株式会社

証券コード | 7613





代表取締役会長
村井史郎

株主の皆様には日頃から温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第28期株主通信をお届けするに当たり、一言ご挨拶申し上げます。

当期の経済環境を顧みますと米国では、良好な雇用情勢を背景として個人消費は堅調に推移しましたものの、主に対中輸出の減少により製造業の景況感に減速傾向が見られました。欧州では、外需の減速や製造業の低迷が景気を下押しする要因となった一方、個人消費が景気を下支えしております。アジアにおいて中国では米中貿易摩擦の長期化や内需の回復の遅れにより景気の減速傾向が続いており、その他のアジアにおいても中国を中心とした需要の減速により、輸出が軟調に推移しております。日本では、個人消費は底堅さを維持したものの世界経済が冷え込む中、主に製造業において減速感が強まっております。

このような経済環境下、米中間の高関税化やそれを回避するための生産地移転に伴う費用の発生および中国国内での自動車販売の不振等が追い打ちをかけ、当社の業績に大きな影響を及ぼしました。その結果当初発表いたしました業績目標値から大幅な未達となり、連結売上高は2,230億円、連結営業利益につきましては55億円となりました。株主の皆様には大変ご心配をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。

当社が関与するエレクトロニクス市場においては、今後CASE、MaaS、IoTといった技術革新がグローバルベースでさらに加速度的に強まってまいります。部品調達力、高品質の実装技術や成形品対応力を組み合わせ、今後も幅広い事業分野の顧客層からの革新的なテクノロジーに関するビジネスを獲得してまいります。特に、本年中盤よりハンガリー工場において、欧州系車載部品メーカーからのビジネスの量産が開始いたします。今後も中期的に非日系顧客からのボリュームの大きいビジネスが各地で量産を迎えます。全社one teamとなって万全の態勢で立ち上げを行い、業績への寄与を着実に実現してまいります。

足元では中国武漢発の新型肺炎が発生しておりますが、中国市場のポテンシャルは非常に大きいものと考えており、中期的には世界最大の市場になる可能性も秘めていると考えております。当社におきましても、EV関連部品の立ち上げ、受注の獲得が急ピッチで進んでおり、今後も、東莞、上海および湖北の3拠点で事業継続、拡大を図ってまいります。

本年度は、米中間税問題への対応も既に完了しており、業績回復の年度となります。

新たな体制でスピーディーに様々な現場に浸透する施策を実行し、結果を出してまいりますので、引き続き皆様からのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年3月

第28期 2019年12月

売上高	2,230億3千7百万円
営業利益	55億0千6百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	36億9千5百万円

品種別の状況

当社が取り扱う電子部品・基板実装品の最終製品を用途別にご紹介いたします。

車載関連機器 112,168百万円 50.3%

車載電装品(車載エクステリア、メーター、ECU、スイッチ、準ミリ波レーダー、ABS、カメラ、バッテリーセンサー他)、カーマルチメディア



産業機器 38,487百万円 17.3%

パワーツール用エンジン点火装置、バッテリーパッキング、航空機内電子機器、インバーター、医療機器、スマートメーター、工業用マシン 他



その他 13,094百万円 5.9%

自動車用ワイヤーハーネス、オートバイ、インク、その他電子部品 他

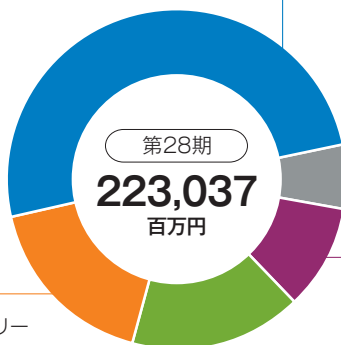
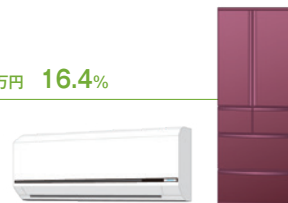
情報機器 22,623百万円 10.1%

スキャナ、OA機器、プロジェクター 他



家電機器 36,664百万円 16.4%

デジタル家電、エアコン、冷蔵庫、知育玩具、健康器具、電子楽器 他



連結財務諸表

Consolidated Financial Results

連結貸借対照表

単位:百万円

科目	当期	前期
	(2019年12月31日現在)	(2018年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	101,990	101,487
固定資産	41,400	35,863
有形固定資産	33,347	27,854
無形固定資産	2,108	1,509
投資その他の資産	5,945	6,499
資産合計	143,391	137,350
負債の部		
流動負債	68,872	63,595
固定負債	16,268	17,738
負債合計	85,141	81,334
純資産の部		
株主資本	55,386	52,976
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	5,630	5,629
利益剰余金	53,579	51,183
自己株式	△ 5,968	△ 5,980
その他の包括利益累計額	2,460	2,678
その他有価証券評価差額金	△ 65	71
繰延ヘッジ損益	3	23
為替換算調整勘定	2,623	2,717
退職給付に係る調整累計額	△ 100	△ 133
新株予約権	60	52
非支配株主持分	342	308
純資産合計	58,249	56,016
負債・純資産合計	143,391	137,350

連結損益計算書

単位:百万円

科目	当期	前期
	(2019年1月1日から 2019年12月31日まで)	(2018年1月1日から 2018年12月31日まで)
売上高	223,037	242,804
売上原価	205,375	222,168
売上総利益	17,662	20,635
販売費及び一般管理費	12,155	12,010
営業利益	5,506	8,625
営業外収益	1,309	1,289
営業外費用	1,181	1,198
経常利益	5,634	8,717
特別利益	—	2
税金等調整前当期純利益	5,634	8,719
法人税等	1,971	2,302
当期純利益	3,663	6,417
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△ 32	2
親会社株主に帰属する当期純利益	3,695	6,414

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当期	前期
	(2019年1月1日から 2019年12月31日まで)	(2018年1月1日から 2018年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,945	966
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,602	△ 6,515
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,923	7,991
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 44	△ 487
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,222	1,954
現金及び現金同等物の期首残高	12,813	10,574
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	284
現金及び現金同等物の期末残高	15,035	12,813

* 連結貸借対照表・連結損益計算書・連結キャッシュ・フロー計算書の記載金額は、それぞれ表示単位未満切捨てにより表示しております。

次なる成長へ向け飛躍するために、 日々の積み重ねを通じてお客様が求める半歩先へ——。

代表取締役会長 村井史郎と2020年3月、代表取締役社長に就任した柳瀬晃治が、2019年度の業績や、今後成長が期待される市場、注力する取り組みなどについてお話しいたします。



2019年度の業績について

米中貿易摩擦等が影響し、 2019年度は減益となりました。

2019年度の業績は、前年同期比で減益となりました。

中国市場において設備投資需要が冷え、産業機器等の販売が停滞したことによる固定費負担の増加と、米中貿易摩擦の影響による高関税を回避するため中国から他地域へ生産移管を行ったことによるコスト増加が主な要因です。さらに、新規拠点等への設備投資により、減

価償却費も増加いたしました。

これらにより、2019年度は厳しい決算になりましたが、ドイツの大手Tier1（一次サプライヤー）企業からカーマルチメディア用の基板実装を受託し、2020年春頃から量産を開始予定です。このような自動車市場におけるグローバル Tier1企業とのビジネスが2020年度中にスタートし、業績の回復に向け、好影響をもたらすと考えています。

今後の展望について

CASEをはじめ、ロボット、IoTなど 追い風が吹く市場が数多くあります。

Tier1企業とのビジネスに加えて、当社にとっての成長市場や新たな商材をご紹介します。

①次世代コネクテッドカー向けモジュール

欧州のカーメーカーが、OSを搭載したクルマを開発するなど、各社が次世代コネクテッドカーの開発にしのぎを削っています。「エンドユーザーが必要な時に、IoTを使ってクルマを呼び、使っただけ料金を支払う」といった、未来のクルマの実現が、すぐそこまで来ていると感じます。

このような、これまでなかった需要に対しても、シークスは高品質の製品を提供していく計画です。

②ADAS (Advanced driver-assistance systems) 関連

ADASとは、自動車事故等の可能性を検知し回避するシステムのことですが、そこに搭載される車載カメラの販売に注力します。シークスの販売ネットワークを通じて、EMSを提供している既存のお客様や、新規のお客様に対して、車載カメラと関連商材をご紹介します。



いきます。

③ロボット・IoT関連

近年、シンガポールでは少子高齢化の進行や人手不足などを背景に、空港や病院などのサービス

現場で、ロボットの導入が進みつつあり、シンガポールのチャンギ空港などにシークスが提供するロボットを積極的に提案しております。このような需要は他の地域でも高いと考えられ、当社は関連するビジネスや製品に関わることで、省人化対策に役立ちたいと考えています。

加えて、ロボットやIoT関連のモジュールに搭載するセンサーについても、国内外の展示会を通じて継続的に紹介しており、多くの引き合いをいただいています。センサーが搭載されモジュール化が進み、これまでになかった機能を持つ製品が続々と生まれ、そういった製品のものづくりに携わる機会が増えていくと考えられます。

④医療関連

医療ベッド搬送支援ロボットをはじめ、シンガポールの医療現場で採用されたロボット、医療用IoTなどの商材を他の地域に紹介し、拡販していきます。それぞれの国・地域によって認可が必要であり、参入障壁があるものの、シークスにとって高い成長性が見込める分野であり、息の長い取り組みを実施していきます。

⑤サカティンクス株式会社との協業

当社の出身母体であるサカティンクスが得意とするケミカル材料や、高度な印刷技術と当社の電子基板実装技術、部材調達力や販売網を駆使し、新たな商材をお客様にご紹介してまいります。お客様のニーズに合致した商材を協働して作り上げることにより高いシナジー効果を期待しております。

直面する課題と施策について

さらなる成長に向けた土台づくりに まい進していきます。

今後、複数のグローバル拠点で同時に生産を立ち上げる計画もあり、見込まれる大量の受注に対して、安定した品質を確保しながらオンタイムで納品することが求められています。そのための土台づくりに全社をあげて取り組んでいきます。

具体策としては、フィリピンで取り組んできた人材育成をさらに推進し、メキシコ、ハンガリーなど他工場への派遣を通じて、どの工場でも同じものを同じ品質で生産する能力を強化してまいります。また、生産技術面では、グループ技術統括部が中心となり、お客様のご要望にお応えする高精度・高品質な実装をグループ全体で可

能にし、その工法やプロセスの標準化を進めてまいります。さらに調達面では、大量の受注にも柔軟に対応できるよう、調達先の確保に努め、調達・物流のネットワークを必要に応じて見直していきます。

多品種中量生産、水平分業のものづくりを行う様々な分野のお客様にとって、シークスほど使いやすいEMS企業は存在しないと考えています。お客様から求められるパートナーとして、これからも高い価値をご提供していくことで成長へとつなげていく所存です。株主・投資家の皆様におかれましては引き続き、ご愛顧・ご支援を賜りますようお願いいたします。



柳瀬社長 モットー

村井会長の語録の中で、特にいつもこれを心がけています!!!

1 継続は力なり

お客様が求めているのは、毎日の我々のアウトプットの積み重ね。毎日の行動の積み重ねがとても大事。

2 微差は大差

他社との競争では、ちょっとした違い(微差)で勝負は決まっている。そんな小さな違いの価値を理解した上で行動することが大切。

PROFILE

やなせ こうじ
柳瀬 晃治

1967年12月10日生
1990年4月 サカタインクス(株)へ入社
1991年12月 同社シンガポール駐在
1997年4月 サカタインクスインターナショナル(株)(現 シークス(株))へ転籍
2012年4月 当社関連事業部マネージャーとなり、多くの海外工場、関連子会社の立ち上げに尽力
2014年1月 当社執行役員欧州地域担当
2019年9月 当社執行役員営業統括兼欧州地域担当
2020年3月 当社代表取締役社長に就任
プライベートに楽しむ趣味は「釣り」と「料理」



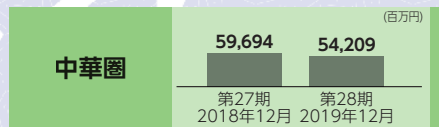
シークスグローバルネットワーク

幅広い海外拠点網の有機的なネットワークを通じて、お客様にさまざまなアウトソーシングの選択肢を提供できることがシークスの強みのひとつです。

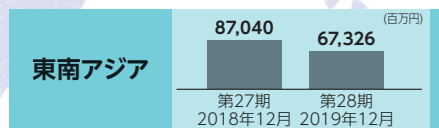
部材調達から、製造、物流に至るまで、お客様のグローバルな事業展開をお手伝いできる拠点を世界14カ国に約50ヶ所設置しております。(2019年12月末現在)



- ⑨ SIIX Europe GmbH ●
- ⑩ SIIX EMS Slovakia s.r.o. ▲
- ⑪ SIIX Hungary kft. ▲

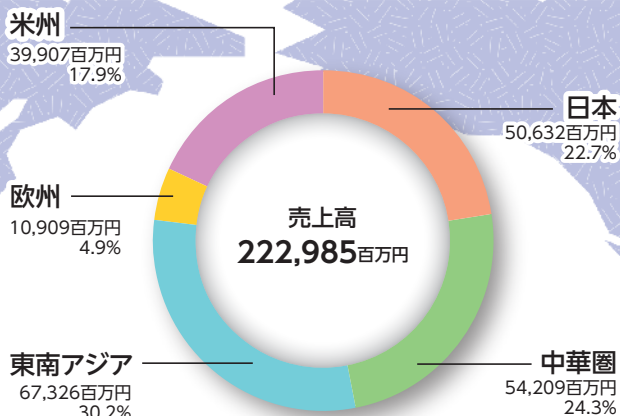


- ⑫ SIIX (Shanghai) Co., Ltd. ●
- ⑬ SIIX EMS (Shanghai) Co., Ltd. ▲
- ⑭ SIIX HUBEI Co., Ltd. ▲
- ⑮ SIIX EMS (DONG GUAN) Co., Ltd. ▲
- ⑯ SIIX (Dongguan) Co., Ltd. ■★
- ⑰ SIIX H.K. Ltd. ●
- ⑱ SIIX TWN Co., Ltd. ■

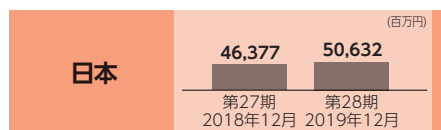


- ⑲ SIIX Bangkok Co., Ltd. ●
- ⑳ SIIX EMS (THAILAND) CO., LTD. ▲
- ㉑ SIIX Vietnam Company Limited ■★
- ㉒ SIIX Malaysia Sdn. Bhd. ■★
- ㉓ SIIX Phils., Inc. ■
- ㉔ SIIX Logistics Phils, Inc. ●
- ㉕ SIIX EMS PHILIPPINES, INC. ▲
- ㉖ SIIX COXON PRECISION PHILS., INC. ▼
- ㉗ SIIX Singapore Pte. Ltd. ●
- ㉘ PT SIIX Electronics Indonesia ▲▼
- ㉙ PT. SIIX EMS INDONESIA ▲
- ㉚ PT. SIIX Trading Indonesia ■★

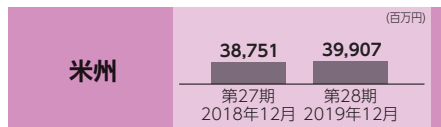
セグメント別売上高構成比



※連結売上高223,037百万円には、上記の他、報告セグメントに属さない52百万円が含まれております。



- ① ■ シークス株式会社 ■
- ② ■ シークスエレクトロニクス株式会社 ▲



- ③ ● SIIX U.S.A. Corp. ●
- ④ ◆ SIIX U.S.A. Corp. Detroit Branch ◆
- ⑤ ◆ SIIX U.S.A. Corp. Irvine Branch ◆
- ⑥ ★ SIIX MEXICO, S.A DE C.V. ★
- ⑦ ▲ SIIX EMS MEXICO, S. de R.L de C.V. ▲
- ⑧ ★ SIIX do Brasil Ltda. ★

主な事業内容

- 電子部品等の販売・物流 ●
 - 電子部品等の販売 ■
 - 各種基板実装および機器・部品の組立・加工 ▲
 - プラスチック成形および金型製造 ▼
 - 支社・駐在員事務所 ◆
- ※★は非連結子会社

4月 マレーシアに営業拠点を設立

マレーシアに展開する車載関連企業とのビジネス拡大を目指し、クアラルンプールにSIIX Malaysia Sdn. Bhd.を設立いたしました。車載関連のお客様向けに電子部品等の調達や物流サービス等を提供し、ASEAN地域における一層のビジネス拡大に注力してまいります。

5月 「人とくるまのテクノロジー展2019横浜」に出展

5月22日(水)～24日(金) パシフィコ横浜にて開催されました展示会「人とくるまのテクノロジー展2019横浜」に出展いたしました。来場者や出展する自動車関連企業に当社の製造技術力をアピールするよい機会となりました。

11月 「光とレーザーの科学技術フェア」に出展

シンガポール、香港のテクノロジーパートナーと共同で11月に東京の科学技術館で開催されました「光とレーザーの科学技術フェア」に出展いたしました。センサーやレンズモジュールなどIoTやCASEといった分野で活用される新商材をお客様に紹介してまいります。

当社の社員が手はんだ付けコンテスト世界大会で優勝

11月にドイツで開催されましたIPC(米国電子回路協会)主催の手はんだ付けコンテスト世界大会において、当社のインドネシア・カラワン工場のスタッフが参加いたしました。航空機器や車載関連機器など最高水準の実装技術や品質を求められる企業から熟練の技術者が参加する同大会において、当社スタッフが生産現場で培った高い技術力を披露し、優勝いたしました。

指名・報酬諮問委員会を設置

コーポレート・ガバナンス強化の一環として、指名・報酬決定プロセスの透明性を高めるため、客観的な視点を持つ取締役会の諮問機関である指名・報酬諮問委員会を設置いたしました。

株式の状況

Situation Of The Stocks

役員状況

Officer

(2019年12月31日現在)

株式・株主の状況

2019年12月31日現在

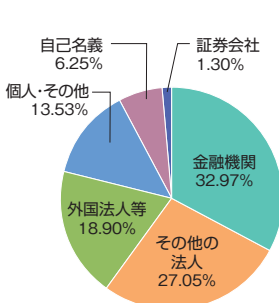
発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式総数	50,400,000株
当期末株主数	8,425名

[大株主]

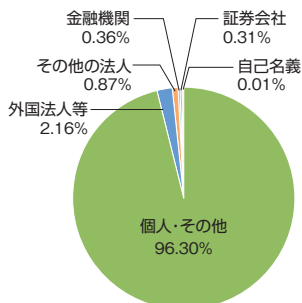
株主名	株式数(株)	持株比率(%)
サカティンクス株式会社	10,812,000	22.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,904,500	8.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,779,200	5.88
有限会社フォーティ・シックス	2,200,000	4.66
株式会社りそな銀行	2,170,800	4.59
株式会社三井住友銀行	2,160,000	4.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,639,000	3.47
村井 史郎	1,400,000	2.96
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	1,032,600	2.19
野村信託銀行株式会社(投信口)	796,800	1.69

※上記のほか当社所有の自己株式3,149,654株があります。

[所有者別所有株式数]



[所有者別株主数]



代表取締役会長 執行役員	村井 史郎	
代表取締役社長 執行役員	桔梗 芳人	
取締役 執行役員	大野 精二	経理部長 兼 情報システム部担当
取締役 執行役員	丸山 徹	総務部長 兼 秘書室長 兼 東京総務部長
取締役	高谷 晋介	北辰税理士法人 代表社員 フジ住宅株式会社 社外監査役
取締役	大森 進	UBS証券株式会社 常勤監査役
監査役(常勤)	友田 雅之	
監査役	石橋 正紀	税理士法人 石橋・笠原事務所 所長 株式会社京都銀行 社外監査役
監査役	手島 泉	サカティンクス株式会社 常勤監査役
執行役員	外山 正一	シンガポール地域担当 兼 SIIX Singapore Pte. Ltd. マネージングディレクター
執行役員	好川 浩	東京営業開発部長
執行役員	松下宇一郎	名古屋営業部長 兼 資材統括部担当
執行役員	吉田 明生	大阪営業部担当
執行役員	村上 正樹	北米地域担当 兼 SIIX U.S.A. Corp. マネージングディレクター
執行役員	柳瀬 晃治	営業統括 兼 欧州地域担当
執行役員	於保 慎哉	中南米地域担当 兼 SIIX EMS MEXICO, S. de R.L de C.V. マネージングディレクター
執行役員	浦谷 行信	フィリピン・タイ・ベトナム地域担当 兼 SIIX Logistics Phils, Inc. マネージングディレクター 兼 SIIX EMS PHILIPPINES, INC.担当 兼 SIIX COXON PRECISION PHILS, INC.担当 兼 SIIX Bangkok Co., Ltd. マネージングディレクター 兼 SIIX VIETNAM COMPANY LIMITED マネージングディレクター
執行役員	藤田 達雄	グループ技術統括担当 兼 シーグスエレクトロニクス株式会社 代表取締役社長 兼 シーグスエレクトロニクス株式会社 グループ技術統括部長
執行役員	平岡 和也	香港・中国華南・華中地域担当 兼 SIIX H.K. Ltd. マネージングディレクター 兼 SIIX EMS (DONG GUAN) Co., Ltd. 董事長 兼 総経理 兼 SIIX HUBEI Co., Ltd. 董事長 兼 総経理 兼 美的PJ担当
執行役員	常井 雅文	タイ地域担当 兼 SIIX EMS (THAILAND) CO., LTD. マネージングディレクター
執行役員	斎藤 善久	SIIX EMS Slovakia s.r.o. マネージングディレクター 兼 SIIX Hungary kft. マネージングディレクター
執行役員	岩武 孝明	東京営業部長
執行役員	高木 浩昭	SIIX EMS (Shanghai) Co., Ltd. 董事長 兼 総経理
執行役員	佐治 宏哲	中国華東・華北地域担当 兼 SIIX (Shanghai) Co., Ltd. マネージングディレクター 兼 台湾担当
執行役員	井口富紀子	秘書室担当
執行役員	河西 正則	インドネシア地域担当 兼 PT SIIX Electronics Indonesia プレジデントディレクター 兼 PT SIIX EMS INDONESIA担当 兼 PT SIIX Trading Indonesia担当

※2020年3月27日付で、柳瀬晃治氏は代表取締役社長に、藤田達雄氏は取締役に就任いたしました。

※取締役のうち、高谷晋介氏、大森進氏は、社外取締役です。

※監査役のうち、石橋正紀氏、手島泉氏は、社外監査役です。

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月
基準日 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当金 毎年12月31日
中間配当金 毎年6月30日
そのほか必要のあるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行事務センター

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネット) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
(ホームページURL)

公告方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.siix.co.jp/jp/ir/koukoku.html>

単元株式数 100株

上場取引所 東京証券取引所市場第一部

証券コード 7613

[株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について]

証券会社に口座を開設されている株主様

口座のある証券会社宛にご照会お願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様

株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。上記の電話照会先にご照会お願いいたします。

IRメール配信のご案内

当社では投資家の皆様に対してe-MailによるIR情報配信サービスを行っております。ご登録いただいた方々に当社のWebサイト(<http://www.siix.co.jp/>)に新たな情報が掲載されたことお知らせします。ご希望の方は、当社のWebサイトIR関連サービスのページ(<http://www.siix.co.jp/ir/irnewsml/>)から、簡単にご登録(無料)いただけます。



この冊子は植物油インキを使用しております。

会社概要

(2019年12月31日現在)

商号 シークス株式会社
設立 1992年7月1日
資本金 2,144百万円
従業員数 個別 201名
連結 12,721名
拠点 大阪本社、東京本社、名古屋営業部
証券コード 7613
URL <http://www.siix.co.jp/>

株主優待

ギフトカード

■対象:毎年12月末日の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上の当社株式を保有の株主様

内容(お一人あたり)	
10単元(1,000株)以上	3,000円分のギフトカード
5単元(500株)以上10単元未満	2,000円分のギフトカード
1単元(100株)以上5単元未満	1,000円分のギフトカード

※1 カード会社発行のギフトカードを贈呈いたします。

※2 毎年3月の定時株主総会後にお送りいたします。

海外工場視察旅行

■対象:1単元以上の当社株式を1年以上連続保有の株主様
※「1年以上連続保有の株主様」とは、毎年12月末日の当社株主名簿に、前期末ならびに当該年度6月末と同一株主番号にて、連続して記載された株主様とします。

■内容:当社のビジネスモデルに対する理解を深めていただくことを主眼に、当社海外工場の視察を含む旅行に、上記の長期保有の株主様の中から抽選で10名様をご招待いたします。(毎年1回)
・2020年開催予定:新型コロナウイルスの流行等、現在の情勢を勘案し、本年度の催行を見合わせ、2021年度に2020年度の当選者様と合わせて開催させていただきます。

配当推移

	第26期 2017年12月	第27期 2018年12月	第28期 2019年12月
配当金(円)*	26	27	28
配当性向(%)	18.1	20.5	35.8

※2018年4月1日を効力発生日として1:2の割合で株式分割を行っており、配当金を過年度に遡及して調整しております。